

草刈作業中の飛び石



7. 時系列

- 13:40頃 事故発生(作業中止)
お客様が新名神(下)土山SA Bランプを走行中に後方から音がしたため、後方を確認したところ、運転席側後部座席の窓ガラス割れていたため、路肩に停車し付近で作業をしていた作業員に一報。
- 13:45 現場責任者からメンテ現場代理人へ事故第一報。
- 13:50 管理隊 現場到着。
- 14:00 お客様車両、本線から甲賀土山IC内プラザへ移動し、積載車と代車到着まで待機される。
- 14:20 メンテ名古屋(株) 現着。
- 14:35 メンテ名古屋(株) 現地確認後、お客様車両を確認するため、甲賀土山IC内プラザへ移動。
- 16:50 積載車と代車が内プラザ 到着。
- 17:00 お客様は代車に乗り換えて出発、当該車両は積載車に搭載して甲賀土山IC 内プラザ離脱。
- 17:05 メンテ名古屋(株) 甲賀土山IC 離脱。

草刈作業中の飛び石

NEXCO



草刈作業中の飛び石

状況写真



飛び石により、運転席側後部座席のガラスが損傷。(割れ)

状況再現



被災車両は、土山SA 加速車線から走行中に被災した。

草刈作業中の飛び石

事故状況図

現場はノーズ間の草刈作業のため、路肩規制を設置して作業を実施していた。本線側は専用のネット車、ランプ側は手持ちネットを設置していたが手持ちネットを飛び越え土山SAから本線へ合流するために走行していた一般車両の右側後方のガラスに飛び石が接触した。

←甲賀土山

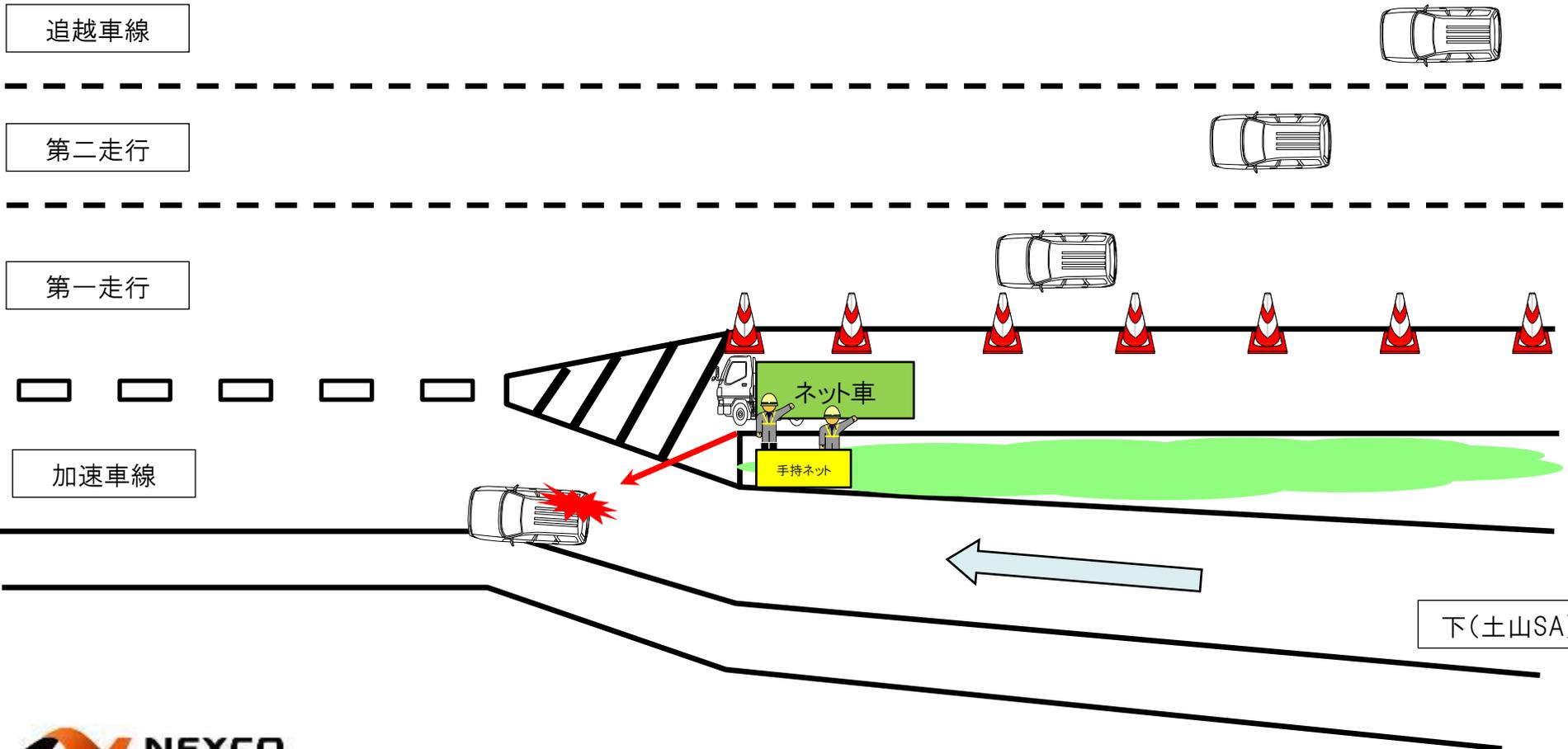
亀山JCT→

追越車線

第二走行

第一走行

加速車線



草刈作業中の飛び石

《草刈作業中の事故を受けての改善案》

☆事故原因

- ・ 雑草等が生えておらず、敷石が露呈している箇所での草刈作業のため飛び石のリスクが高くなっていた。
- ・ 飛散防止対策として、手持ネットを一基使用していたが、それでは、今回の現場としては不十分であった。

☆事故原因から現場作業では、どうするべきであったか。(また、通常はどうしているか)

- ・ 今回の作業箇所は、敷石が敷かれていたため、肩掛け式草刈機を使用せずに作業するべきであった。
- ・ ハードノーズ部分では、本線側にはネット車、ランプ側には手持ネットを設置し、刈手を囲うように作業を行うべきであった。

☆今後の再発防止対策

- ①現場状況に応じ、事前に作業方法等を再確認し、最も安全な作業方法を作業員とともに再確認・徹底する。
- ②今回のような敷石が敷かれている作業箇所は、手刈作業もしくは**かるわざ師SUPER**と肩掛け式トリマーで作業を行うようにする。
- ②ハードノーズのような両側から車両が走行してくる箇所は、本線側にはネット車、ランプ側には手持ちネットを増量し、刈手を囲うようにして作業を行う。
また、**両側防護が必要なハードノーズ箇所等は、防草対策(シートマルチング)をNEXCOに要望していく。**



草刈作業中の飛び石

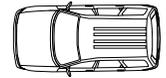
対策状況図

ハードノーズのような両側から車両が走行してくる箇所に関しては、本線側にはネット車、ランプ側には手持ちネットを増量し、刈手を囲うようにして作業を行う。

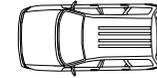
←甲賀土山

亀山JCT→

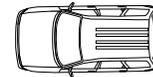
追越車線



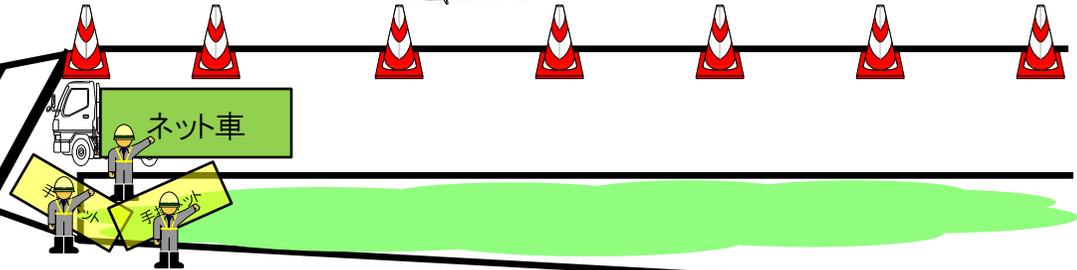
第二走行



第一走行



加速車線



下(土山SA)